

業務実績報告書

提出日 2020 年 1 月 21 日

1. 職名・氏名 助教 永井 裕子2. 学位 学位 修士、専門分野 社会福祉学、授与機関 日本福祉大学、
授与年月 2006年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（1単位・2年次）、Ⅱ（1単位・3年次）、ソーシャルワーク実習（4単位・3年次）
②内容・ねらい 「相談援助実習・実習指導ガイドライン」に基づき、社会福祉士として必要な知識、技術、価値および関連知識を再確認し、ソーシャルワーク実習に耐え得る専門的な力量を備えること。実習計画書に基づき現場実習を行い、実習後は実習報告書の作成および実習報告会において報告を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 実習関連科目 個別の実習課題に応じて個別指導および集団指導を行う。本人の学びの目標や課題および実習成果を言語化し、今後の自身のソーシャルワーク実践に展開できるよう添削、個別面談での対話を重視している。
①福祉のまちづくり論（2単位）1年次 2019年度～
②内容・ねらい 福祉のまちづくりを展開している実践家による講義とグループディスカッションから、地域における生活課題とその改善に向けた社会資源の把握および新たな創造の可能性について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 実際の福祉のまちづくりのプロセスとして地域福祉計画の住民懇談会ワークショップを体験したり、実践者・当事者をゲストとして招聘することで、学生が地域での具体的なまちづくり実践について多面的に学べるよう工夫した。
①地域福祉論（4単位）2年次 2015年度～
②内容・ねらい 地域福祉とは、地域社会にどのようなアプローチをする福祉なのかを説明する。そのうえで、福井県内外のさまざまな地域福祉の課題を取り上げ、これに対していかなる援助が行われているのかを学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 福井県内の地域福祉実践を紹介したり、全国的な過疎地域の数的データや状況を元に地域福祉として可能な支援、ネットワークについて伝え、学生が実態と一般論との相違を見だし、自分なりに考えることができるよう工夫した。
①福祉計画論（1単位）3年次 2015年度～
②内容・ねらい 各種の福祉計画の根拠法とその意義や主体を説明し、さらにコミュニティワークの歴史や展開過程についての基礎となる理論や方法を講義する。そのうえで福祉計画の策定や実際の事例検討を行いながら、今後の福祉計画のあり方についても論じる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 県内複数の市町の実際の行政計画を用いたり、行政計画のプロセスを疑似体験するなどして、福祉計画の実態とその整理について体系的に学べるよう工夫した。 また、学生の要望に応じ国家試験問題を解き、解説するなどの実践的な内容を組み込んだ。

①ソーシャルワーク特別講義 B (1 単位) 4 年次
②内容・ねらい フィールドワークを通して、今まで学んできた社会福祉の価値、知識、技術についてさらなる修得を図る。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 3泊4日の池田町でのフィールドワーク前後で DVD や資料などを用いて事前・事後学習を行なった。また、インタビューガイドの作成や報告書の作成・添削を通じて、学生が自分の関心を言語化する力を獲得できるよう促した。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名 (単位数) 開講学校名 福井大学 (2 単位) 3 年次 2019 年度～
②内容・ねらい (自由記述) (1) 地域福祉は、地域社会にどのようなアプローチをする福祉なのかを理解する。 (2) 多様な地域福祉の課題を取り上げ、これらにいかなる援助が行われているのかを知る。 (3) 地域で生活する要援護者の実情をとらえ、生活上の問題点を改善する視点を得る。 (4) 地域福祉に関連する公私の機関や組織を知り、さらに住民参加の必要性を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) DVD や当事者団体によるゲスト講義、グループワークやフィールドワークを取り入れることで、座学のみならず多角的に地域福祉を理解できるよう努めた。また、社会福祉の基礎的学習も含めて、福祉分野への関心を高められるよう工夫した。
④本学における業務との関連性 (自由記述) 地域福祉に関する研究の一環として、学生の基礎的知識に合わせた教育プログラムの検討を行うことができた。
①担当科目名 (単位数) 開講学校名 現代社会と福祉 日本福祉大学中央福祉専門学校 (通信課程 レポート添削) 2015 年度～
②内容・ねらい 日本の社会福祉および福祉政策における理念・思想・運営等について歴史的な変遷を踏まえて理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国家試験に頻出する重要語句を中心に課題として取り上げるよう努めている。
④本学における業務との関連性 専門学校において社会人経験を有する学生の社会福祉士養成に資することで、その多様な学びの形態や教育成果を本学の教育に活かしたいと考えている。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日) アクティブシニアのボランティア活動参加と構造的制約条件：福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から(6) 福井県立大学論集 = Journal of Fukui Prefectural University (52), 59-87, 2019-09 アクティブシニアのボランティア活動参加と社会問題への関心：福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から(5) 福井県立大学論集 = Journal of Fukui Prefectural University (50), 27-58, 2018-08 アクティブシニアのボランティア活動参加と社会関係資本：福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から(4)福井県立大学論集 = Journal of Fukui Prefectural University (49), 15-44, 2017-08 アクティブシニアの ICT 利用とボランティア活動：福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から(3)福井県立大学論集 = Journal of Fukui Prefectural University (49), 1-14, 2017-08
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名) よくわかる社会福祉の「経営」(共著)「町内会・自治会」「地域の協働運営」(2018) ミネルヴァ書房
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
④その他の公表実績 ・メディックメディア『クエスチョンバンク社会福祉士国家試験問題解説』2016年度～2019年度(2月予定)「相談援助の理論と方法」解答・解説作成 ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催全国統一模擬試験問題作成 2016年度～2019年度
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名) 日本地域福祉学会地方部会委員(2014年度～現在)
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所) 日本地域福祉学会地方部会企画・運営(年1回程度)
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間)) 文部科学省科学研究費(基盤研究B)「地域福祉専門職による過疎地域支援のための診断指標の開発」(平成27年度-30年度)に関わる調査及び研究会への参加(年4、5回程度) 文部科学省科学研究費(基盤研究C)ボランティア活動参加の促進要因に関する総合的研究—社会関係資本との関係を中心に—(平成28年度-31年度)に関わる調査および研究会への参加(年1、2回程度)
②その活動による成果

(4)外部資金・競争的資金獲得実績
文部科学省科学研究費（基盤研究 B）「地域福祉専門職による過疎地域支援のための診断指標の開発」（平成 27 年度- 30 年度）研究分担者 文部科学省科学研究費（基盤研究 C）ボランティア活動参加の促進要因に関する総合的研究－社会関係資本との関係を中心に－（平成 28 年度-31 年度）研究分担者
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 越前市地域福祉計画策定委員長（2017 年度） 敦賀市地域福祉計画策定委員長(2019 年度) 坂井市地域福祉計画策定副委員長（2019 年度～2020 年度） 大野市地域福祉計画策定委員長（2019 年度） 福井市社会福祉審議会委員（2019 年度～2021 年度） 越前市社会福祉法人地域協議会委員（2019 年度）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） 越前市社協地域福祉活動計画策定委員長 永平寺町社協地域福祉活動計画策定アドバイザー 坂井市社協地域福祉活動計画策定委員長(2019 年度) 勝山市社協ボランティア運営委員会アドバイザー（2017 年度～） 社会福祉法人足羽福祉会苦情解決第三者委員（2017 年度～） 社会福祉法人和楽園評議員（2019 年度） 有料老人ホームサンライフ小野谷アドバイザー（2019 年度～）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間） 株式会社 LAMP（事業内容：コワーキングスペース及びシェアオフィス）代表取締役
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間） 敦賀市社協福祉委員活動推進セミナー 福井県児童館連絡協議会児童厚生 2 級指導員研修会 勝山市地域いきいきサポーター養成講座 越前市王子保地区ささえ合い委員会研修会 越前市社協職員研修会 坂井・奥越地域保健・福祉・環境関係職員研修 坂井市社協地域福祉活動計画研修会 勝山市社協生活支援体制整備事業地区別研修会（全 7 地区）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） 学問探求講座（「社会福祉とまちづくり」県立武生東高校 2019 年 11 月 1 日）

③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
（職名、期間）
(2)委員会・チーム活動
（名称、期間）
(3)学内行事への参加
（行事名、参加日時）
(4)その他、自発的活動など
（活動名、活動内容、活動期間）